多機関共同研究用

2023 年　　10 月　　5 日作成　Ver.1
2026 年 3 月 4 日　Ver.2

研究課題名「周産期医療におけるダイバーシティ＆インクルージョン実現のための研究」に関する情報公開

１．研究の対象

本研究の対象者は、2000 年 1 月から 2025 年 12 月の間に、日本周産期・新生児医学会の会員であった方です。

２．研究目的・方法・研究期間

研究目的：1999 年 6 月に男女共同参画社会基本法が施行され、医療界においてもダイバーシティ推進活動が進められている。女性医師活躍推進委員会が設立され、提言を発出しました。しかし、会員への認知度は不明です。外科、内科、小児科など他の診療科での意識調査は散見されますが、国内で周産期医療を従事する医師を対象とした調査報告はなく、現状（委員会での役員の男女比の変化、会員の意識の変化、会員の年代・性別による意識の差など）を把握することが重要と考えられます。
今回の研究の目的は、周産期医療におけるダイバーシティ＆インクルージョンの現状と意識を明らかにすることです。この研究成果を踏まえ、実現に向けた解決策を提案することが可能となることが期待されます。

研究方法：過去に日本周産期・新生児医学会　女性活躍推進委員会が実施した会員向けの意識調査結果（2014 年・2021 年・2023 年に実施）および会員・役員・学会シンポジウムの座長数などの男女比などの既存情報を用いる。10 年前の意識調査と今回の調査との結果の比較により意識改革は進んだか学会における役員比率、シンポジウム座長数など男女比は変化しているかについて、記述統計解析を行います。

研究期間：実施許可日　～　（西暦）　　2028 年　　3 月　　31 日

３．研究に用いる試料・情報の種類

情報：　過去に日本周産期・新生児医学会　女性活躍推進委員会が実施した会員向けの意識調査結果（2014 年・2021 年・2023 年に実施）および会員・役員の性別、年代別、

地域別などの数値といった既存情報を日本周産期・新生児医学会事務局より提供をうける。

４．外部への試料・情報の提供

共同研究機関へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

５．研究組織

名古屋大学医学部附属病院　産科婦人科・准教授・牛田貴文

名古屋大学医学系研究科博士課程総合医学専攻産婦人科学・助教・田野　翔

名古屋大学医学部附属病院　産科婦人科・病院助教・松尾聖子

共同研究機関:

浜松医科大学産婦人科　教授　小谷友美

日本周産期新生児医学会　女性医師活躍推進委員会

https://www.jspnm.jp/modules/about/index.php?content_id=34

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科産科・婦人科学　講師・衛藤英理子

昭和大学江東豊洲病院産婦人科　助教・小松玲奈

６．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

連絡先：浜松医科大学　産婦人科学講座

〒431-3192 静岡県浜松市中央区半田山１－２０－１

電話：053-435-2309

研究責任者：浜松医科大学産婦人科　教授　小谷友美

研究代表者：名古屋大学医学部附属病院　産科婦人科・准教授・牛田貴文